



「探究」を探究する ～「探究 シブヤ未来科」をデザインする～

校長 駒崎 彰一

人工知能(AI)、ビッグデータ、Internet of Things (IoT)、ロボティクス等の先端技術が高度化して、あらゆる産業や社会生活に取り入れられた Society5.0 時代が到来しつつあり、社会の在り方そのものがこれまでとは「非連続」と言えるほど劇的に変わる状況が生じつつある時代に入ってきています。このように急激に変化する時代の中で学校教育には、一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、主体的に豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、そのスキル(資質・能力)を育成することが求められています。

この育成に向け、日本全国どの学校でも一定の水準が保てるよう文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準である「学習指導要領」では、学校での「あらゆる学び」を通じて「何ができるようになるのか?」という視点から、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱からなるスキル(資質・能力)を総合的にバランスよく育てていくことを目指しています。「知識及び技能」は、単なる覚える知識のみでなく、習得した個別の知識を既存の知識や経験と関連付けて深く理解し、社会の中で生きて働く(使える)知識となるものを含むとしています。そして、その「知識及び技能」をどう使うかという「未知の状況」にも対応できる「思考力、判断力、表現力など」。さらに、学んだことを社会や人生に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」を含めたスキル(資質・能力)の3つの柱を一体的に育成することで未来社会をたくましく生き抜く人材を育成する方向性を示しています。



この「3つの柱」を確実に育むために「習得・活用・探究」いう学びの過程(手段)を重視することが求められています。

具体的には、基礎的・基本的な知識・技能を「習得」することが中心であった「これまでの学び」に加え、様々な実体験を通して習得した知識・技能や経験値を課題解決に「活用」すること、そして、学んだことを社会や人生において実践する「教科・学年等を越えた問題解決的学習(Project Based Learning)」や「探究」活動へと発展させることが重要であるという学びの手段です。このような中で本校では、昨年度までに「Authentic Learning(本物に触れる学び)」を目的として、教科や学年等の従来の枠組みを超えた問題解決的学習(Project Based Learning)や STEAM 教育(Science, Technology, Engineering, Mathematics に、芸術・文化・生活・経済・法律・政治・倫理等を含めた広い範囲 Liberal Arts の A)といった様々な学びを展開してきました。<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/93911/610678.pdf>

さらに充実を図るために「習得・活用・探究の往還」が重要であると考えています。「探究 シブヤ未来科」がスタートした本年度、文部科学省「授業時数特例校」の制度を利用して、「習得・活用・探究」いう学びの往還を重視して「学びのデザイン」を進めていきたいと考えています。この取組には、習得した知識を「実社会」とつなぐことが重要であると言われています。

この学びを構築していくことで「Students take on challenge to 'Change the World'」生徒が主体となり「世界(未来社会)を変えること」にチャレンジしていきたいと考えています。

入学式

令和6年度入学式が4月9日(火)に行われました。113名の新入生が入学、全校321名での新チームがスタートしました。今年度も素晴らしい在校生「歓迎の言葉」、新入生「誓いの言葉」がありましたので全文を紹介します。



「歓迎の言葉」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。原宿外苑中学校在校生一同、心より歓迎申し上げます。

さて、本日輝かしい未来への新たな一步を踏み出した皆さんに考えてほしいことがあります。これまで皆さんが過ごしてきた小学校での六年間、これは「過去」であり、これから私たちが共に過ごす中学校での三年間、これは「未来」と表現されます。では、この過去と未来は何によって区別が為されるのでしょうか。

僕は最近、物理学に関する、とある興味深い本を読み、この問題について考えてみました。その本の著者曰く、「過去と未来は痕跡によって区別される」とのことでした。例えば、皆さんが砂浜を歩いているとします。振り向くと足跡が出来ていますよね。これが痕跡であり、過去。そして前を向くと足跡は勿論なくて、これから先の未来が広がっています。物理学において、「歩く」という動作には必ず熱が伴い、それが「足跡」という痕跡の発生につながるのです。これが物理の世界での「痕跡のできかた」です。

僕はこの考え方は物理の世界に限らず、みなさんの残したい痕跡、つまり夢の実現にも同じことが言えると思います。

この原宿外苑中学校では、大小さまざまな痕跡、熱が積み重なって、伝統が築かれています。三月にご卒業された前生徒会長は「伝統とは、伝わってきたものをそのまま引き継ぐのではなく、時代や環境に合わせた自分たちなりの何かを加えて次の世代へバトンを渡していくものだ。」とおっしゃっていました。

そこで、新入生の皆さんにも是非、「これからの三年間、何に対して熱を向けるのか、どのような痕跡を残し、未来へと繋いでいくのか。」ということを考えてほしいです。幸い、この原宿外苑中学校には、ありとあらゆるジャンルの「熱を向けられる対象」が溢れています。運動が得意な人には体育祭や渋谷区陸上競技大会、音楽が好きな人は合唱祭や吹奏楽部、プログラミングに興味がある人はドローンの授業などもあります。これから自分の好きなことや得意なものを探していきたい人には、様々な探究学習の授業やイベントが待っています。チャンスはたくさんあります。自分の熱が反応するものを見つけて、それぞれの夢の実現へと繋げてください。

僕たち在校生も痕跡づくりの道半ば、皆さんと一緒に熱量のある日々が過ごせることを楽しみにしています。

「やっちゃん原宿外苑! Don't Think Just Do !」

在校生代表 目黒 龍一郎

「誓いの言葉」

本日は、私たちのために、ご来賓の皆様、先生方、在校生の皆様にご臨席をいただき、このような入学式をしていただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

歴史ある原宿外苑中学校の一員となりましたことに、大きな喜びと誇りを感じるとともに、その責任も感じています。私たち新入生は、諸先輩方が築いてこられた原宿外苑中学校の伝統を守り、受け継ぐとともに、新たな学校の歴史を皆さまと築いて参りたいと思います。

私は、小学校と中学校での違いは、私たち一人ひとりに自主性がより求められることだと思います。自主性

は、自由が認められると同時に、責任も伴います。中学校では、日常の学習活動とともに、様々な課外活動をする人も多いと思います。私自身は、中学校では、小学校から続けてきているフェンシングに加え、部活動にも挑戦してみたいと考えています。日々の学習活動をこなしながら、フェンシングや部活動も行うことは、決して容易なことではないと思いますが、それに挑戦し、自分自身を人間として進化させていきたいと決意しています。

さて、小学生から中学生に変わり、学区は広がり、交わる人の範囲も広がっていきます。それに伴い、これまで接したことがない価値観や文化を背景にした人たちとも接する機会が増えることと思います。私たちには、異なる価値観や文化を受け入れ、認め合い、尊重する姿勢が求められると思います。このような姿勢が、多様性のある社会を作り、活力があり、いじめや偏見・差別のない社会を作り出すものと信じています。

私たち新入生は、原宿外苑中学校の生徒として誇りと責任を胸に刻み、今日から三年間、先生方、在校生の皆様、近隣の皆様、家族とともに、充実した中学校生活を送るとともに、グローバル社会の中で社会に貢献できる人材になるよう精進することをここに誓い、新入生代表の言葉とさせていただきます。

新入生代表 岡部 光之真

対面式・部活動紹介

4月10日(月)には、生徒会が企画・運営する「対面式」「部活動紹介」がありました。本年度は、全校生徒が300名を超えてのリアル開催。体育館をフルに活用しての充実した対面式・部活動紹介となりました。



修学旅行

3年生が25日(木)から27日(土)までの2泊3日で「京都・奈良」関西方面に行ってきました。現在の3年生は・・・1年生の秋に「京都・奈良」・「高知」の2か所の旅行先について事業者のプレゼンを受け、自分達で行先を選択して創り上げた修学旅行です。また、本年度より修学旅行を4月実施に変更しました。これは学校行事の関係で、これまで「体育祭→修学旅行→中間考査」という流れで進めておりましたが・・・それぞれが中1週間もないというタイトなスケジュールになっていました。本年度より「修学旅行→体育祭→中間考査」とすることで、それぞれ中2～3週間ほど少しゆとりをもったスケジュールになっております。それぞれの行事、そして何よりも勉強を充実させてほしいという想いが詰まっています！





中学校体育連盟の主催する大会参加のための登録について

地域スポーツ団体等で活動して、中学校体育連盟が主催する大会に参加するため、学校からの選手登録が必要な場合は、藏重主任教諭が窓口になりますので連絡をお願いいたします。

本年度より地域スポーツ団体等から直接登録して、中学校体育連盟が主催する大会への参加も可能となっておりますので各団体とご確認の上、連絡をお願いいたします。

表彰

陸上競技部 第87回東京陸上競技選手権大会 男子東京RS 中学四種競技 第3位 2034点

秋元 瞭

すみだ北斎美術館 入館者100万人達成記念「勝手に!北斎賞」 未来賞

目黒 龍一郎

		日	月	火	水	木	金	土
今月の 予定					1	2	3	4
					TLD 渋中研総会	開校記念日	憲法記念日	みどりの日
5 月	5	6	7	8	9	10	11	
	こどもの日	振替休日	内科検診(1)	体育祭 全体練習		心臓検診(1)		
	12	13	14	15	16	17	18	
		体育祭 全体練習		体育祭 予行	安全指導		体育祭	
	19	20	21	22	23	24	25	
		振替休業日	避難訓練	歯科検診(1)	都学力調査 (全)			
	26	27	28	29	30	31		
		生徒会朝礼 TLD	生徒総会					

		日	月	火	水	木	金	土
来月の 予定								1
	2	3	4	5	6	7	8	
6 月		中間考査	中間考査	耳鼻科検診 (全)			土曜授業 パラ・デフ 応援イベント	
	9	10	11	12	13	14	15	
		全校朝礼	歯科検診(2) 体力テスト	職員会議 研修会	眼科検診(全)			
	16	17	18	19	20	21	22	
		水泳指導(始) 指導課訪問	脊柱側弯検診 (1)		安全指導			
	23	24	25	26	27	28	29	
		TLD	避難訓練	定期健康診断 (終)				
	30							